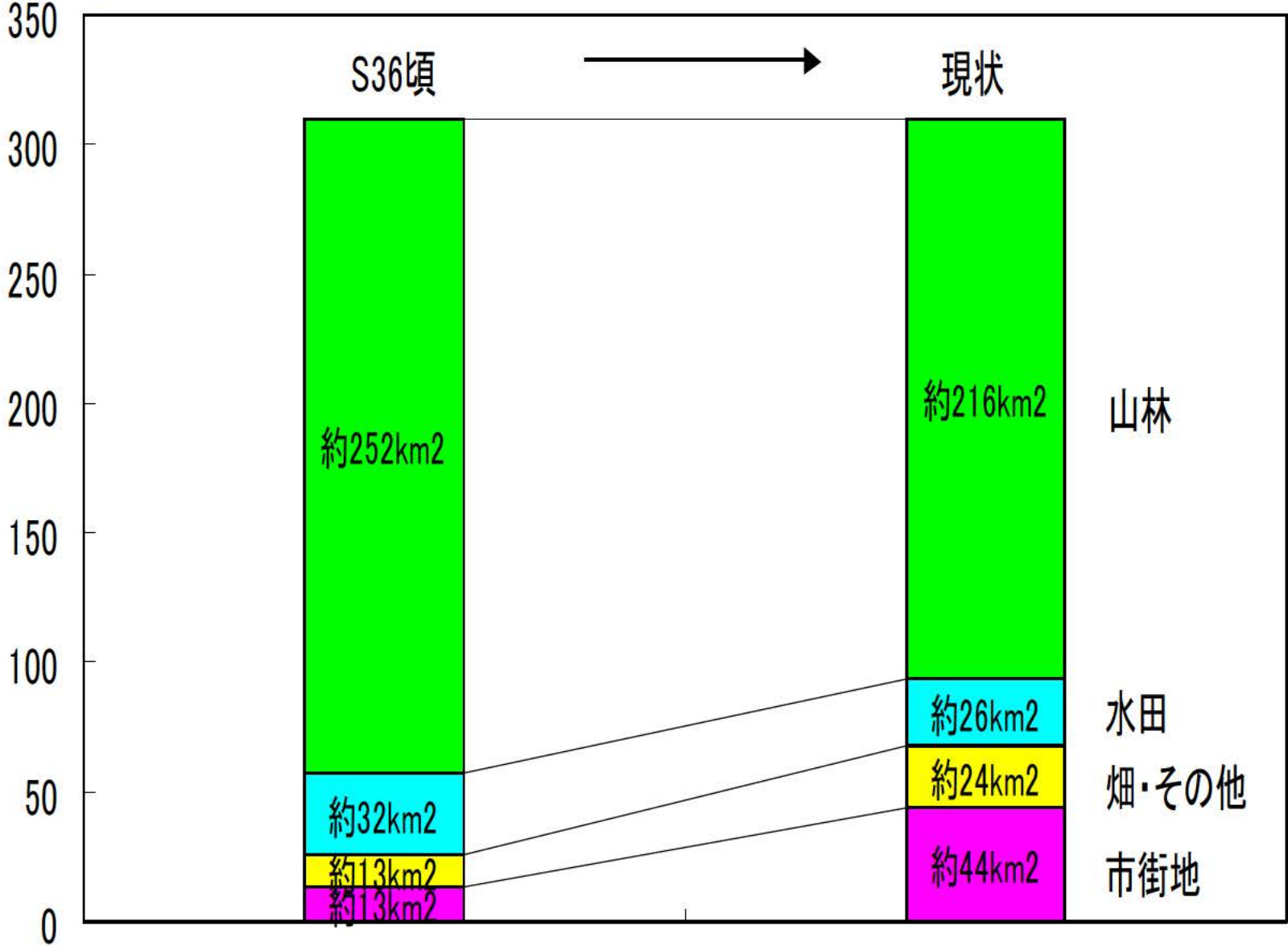


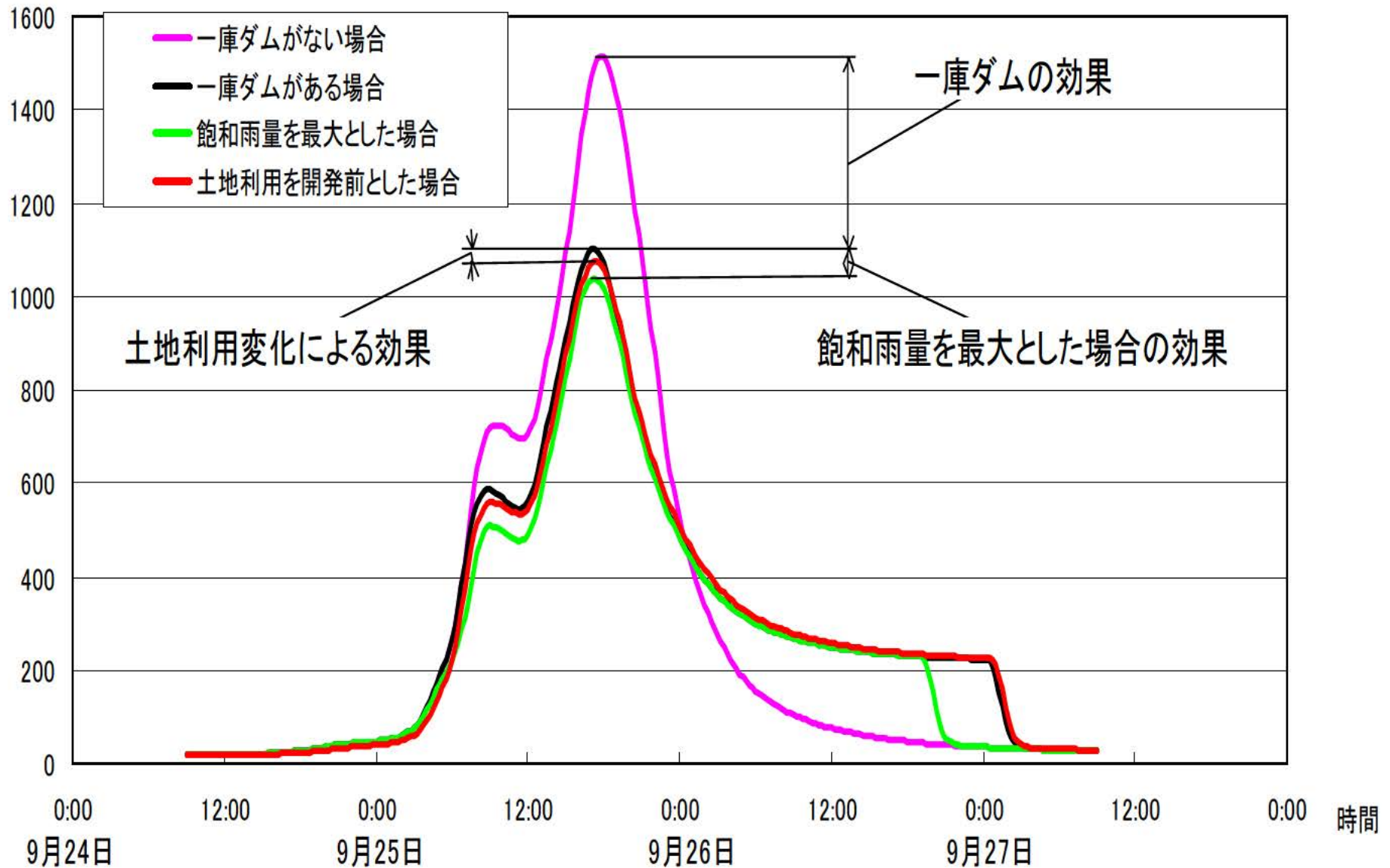
# 土地利用面積の変遷(小戸上流域)

面積(km<sup>2</sup>)



流量(m<sup>3</sup>/s)

S28.9洪水 1.0倍



## 2.3 保水能力の評価

### ◆流域の保水能力とダムによる洪水調節機能◆

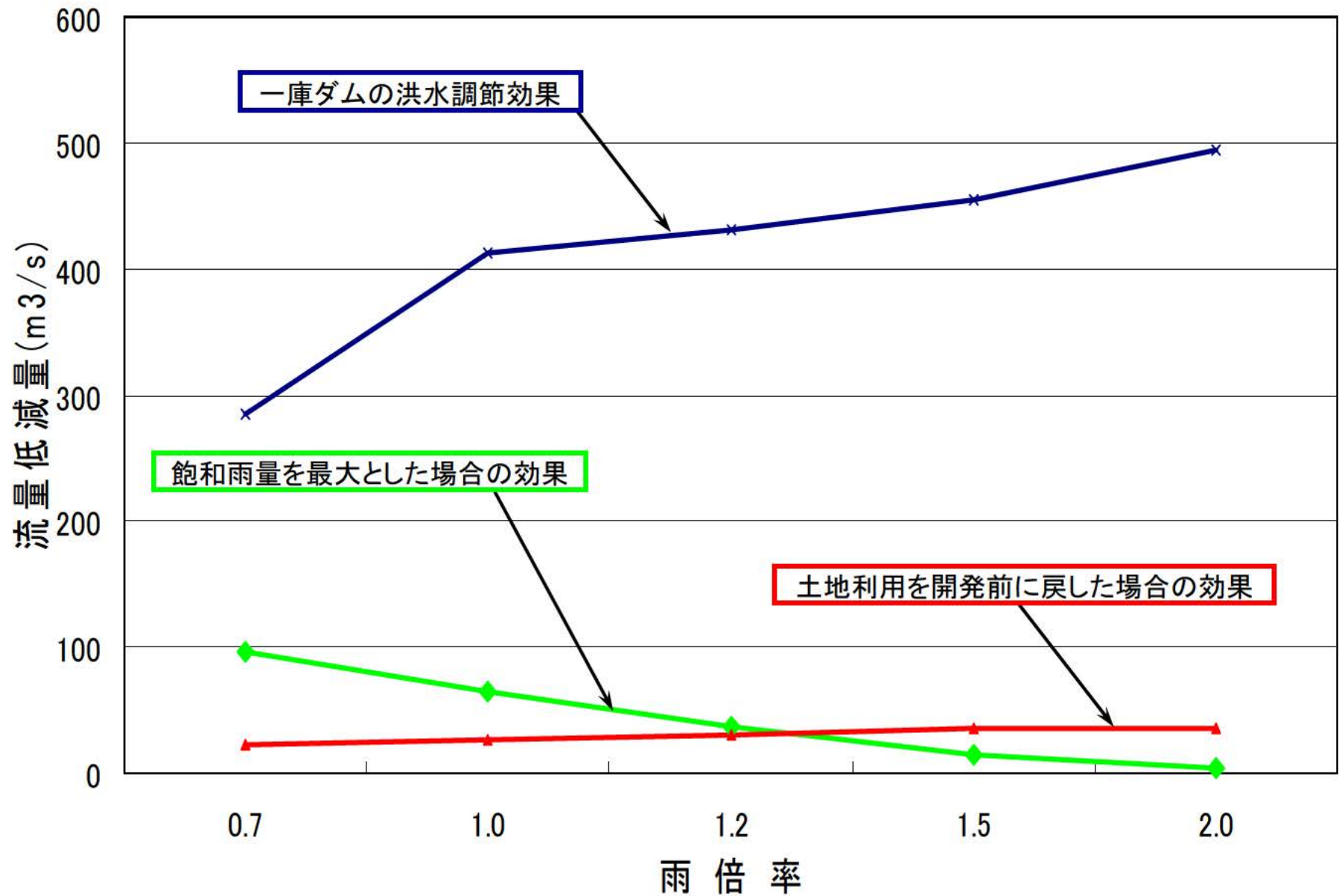
#### 《評価結果》

図より保水能力については、損失を最大(飽和雨量200mm)に見込んで雨の規模が大きくなると(雨の倍率が大きくなると)流量低減効果は小さくなり、ほとんど無くなってしまふ。また、土地利用を開発前に戻しても流量低減効果は小さいと言える。

〈計算条件〉現状の土地利用、現状河道、一庫ダム、防災調節池

ただし、一庫ダムがあふれるとダムの効果がわかりにくくなるため、ダムの放流量を各倍率で変化させ、ダムの効率的操作を行うこととしている。

# 保水能力による流量低減効果(小戸地点で評価、S28.9洪水を対象)



## ■ 第7回猪名川部会

### 概要

1. 総合治水対策について
2. 保水能力について
3. 猪名川の治水の現状